

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 14 日

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
主管課名	商工観光課	主管課長名	関口 斎
関係課名	建設課・都市計画課・環境安全課		

施策が目指すことがた	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。 駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。
------------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・業所	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 公共交通が利用しやすくなるための意見や提案を積極的に行います。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行う。 魚津市民バスについては、路線の整備、利用のPRを図る。 公共交通に関する各種団体及び機関からなる公共交通活性化会議を行う。
	その他	

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<p>市内のバスは、民間路線バスと市運行の市民バスなどと高速バスがあります。鉄道は、JRの魚津駅及び富山地方鉄道の4駅があり、地域の主要公共交通(通勤・通学者及び観光客等の足の確保)として重要な役割を担っています。</p> <p>市民バスは、地域ニーズに即した運行方法や料金などの見直し、民間路線バスとの協調や公共交通空白地域への対応と安全運行管理体制の見直しなどが必要となっています。また、新たに長距離交通手段として期待の高まる高速バスでは利用促進が重要な課題です。</p> <p>鉄道は、魚津駅・新魚津駅が北陸新幹線開業に伴う新幹線新駅からの在来線アクセス駅として整備が求められています。また、交通の結節点として地域活性化も目的とした電鉄魚津駅及び駅前広場整備も早急に進めていく必要があります。</p>
--------------------	---

施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
-------	----	-----	-----------

基本事業名①	事業内容(活動内容)									
	公共交通ネットワークの構築	地域におけるバス・鉄道などの公共交通の連携・活性化を図るとともに、将来における効率的、効果的かつ持続可能な公共交通体系を構築します。また、新たな長距離輸送手段としての高速バス網の強化も図ります。								
①に属する代表的な事務事業	事業内容(活動内容)									
公共交通対策事業	地域における公共交通の活性化を図るとともに、新幹線開業後の在来線のあり方を検討する。									
高速バス網の強化	魚津ICにおける高速バスのバス停を新設し、長距離公共交通の利便性を確保する。									
基本事業①の目的【意図】	各種公共交通機関の利便性向上とともに、乗り換えの利便性を高めます。									
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
市民バスと地域活性化バス(片貝バス)及び地鉄バス利用者数	人	200,149 +地鉄	201,000	201,800	202,600	203,400	204,200	205,000 +地鉄	210,000 +地鉄	
			207,287							
鉄道駅利用者数	人	3,025,850	2,990,000	2,960,000	2,930,000	2,900,000	2,870,000	2,850,000	3,050,000	
			2,986,540							
高速バス魚津停留所利用者数	人	0	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	
			4,003							
基本事業名②	事業内容(活動内容)									
市民バス体系の強化	民間路線バスとの協調、公共交通空白地域への対応、安全運行管理体制の強化や低床バス導入などの利用環境の整備を進め、安全・安心なバス運行事業を行います。									
②に属する代表的な事務事業	事業内容(活動内容)									
地域活性化バス運行事業	片貝地域における児童や生徒、高齢者等の移動制約者の足を確保するため、片貝地区内においてコミュニティバスを運行。									
魚津市民バス運行事業	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、もって市民の福祉を増進し、地域の活性化を促進することを目的として、市街地循環ルート2路線と郊外ルート6路線のバスを運行している。									
公共交通対策事業(再掲)	地域における公共交通(バス)の活性化を図るとともに、新幹線開業後の在来線のあり方を検討する。									
基本事業②の目的【意図】	市民及び来街者の移動権を確保します。									
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
市民バス及び地域活性化バス(片貝バス)の利用者数	人	200,149	201,000	201,800	202,600	203,400	204,200	205,000	210,000	
			207,287							
基本事業名③	事業内容(活動内容)									
在来線の利便性向上	地域における安全・安心な鉄道環境の整備支援と鉄道利用の促進及び北陸新幹線開通後の在来線のあり方を検討し、鉄道駅を中心としたまちづくりや地域活性化を促進します。									
③に属する代表的な事務事業	事業内容(活動内容)									
鉄道軌道輸送高度化事業	新幹線開業に伴う並行在来線の維持活性化等と鉄道を中心とした街づくりの推進や地域活性化を目的の協議会の事業活動に補助金を交付する。									
公共交通対策事業(再掲)	地域における公共交通(バス)の活性化を図るとともに、新幹線開業後の在来線のあり方を検討する。									
基本事業③の目的【意図】	鉄道の利便性向上による更なる公共交通の活性化を図るとともに、中心市街地の活性化につなげます。									
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
市内富山地方鉄道駅利用者数	人	1,176,760	1,164,000	1,151,000	1,138,000	1,126,000	1,113,000	1,100,000	1,200,000	
			1,163,000							
JR魚津駅利用者数※	人	1,849,090	1,832,000	1,817,000	1,800,000	1,784,000	1,767,000	1,750,000	1,850,000	
			1,823,540							
※H27年のJR魚津駅利用者数は、北陸新幹線の開業により、在来線の長距離利用者分が減少。										
基本事業名④	事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業	事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

